

# その趣味

男声合唱団

# いただきます。



蕎麦



山歩き



Nゲージ



手品



写真



お箏



手品



カラオケ



パッチワーク



詩吟



書道

## 趣味が 市民活動に？

それが

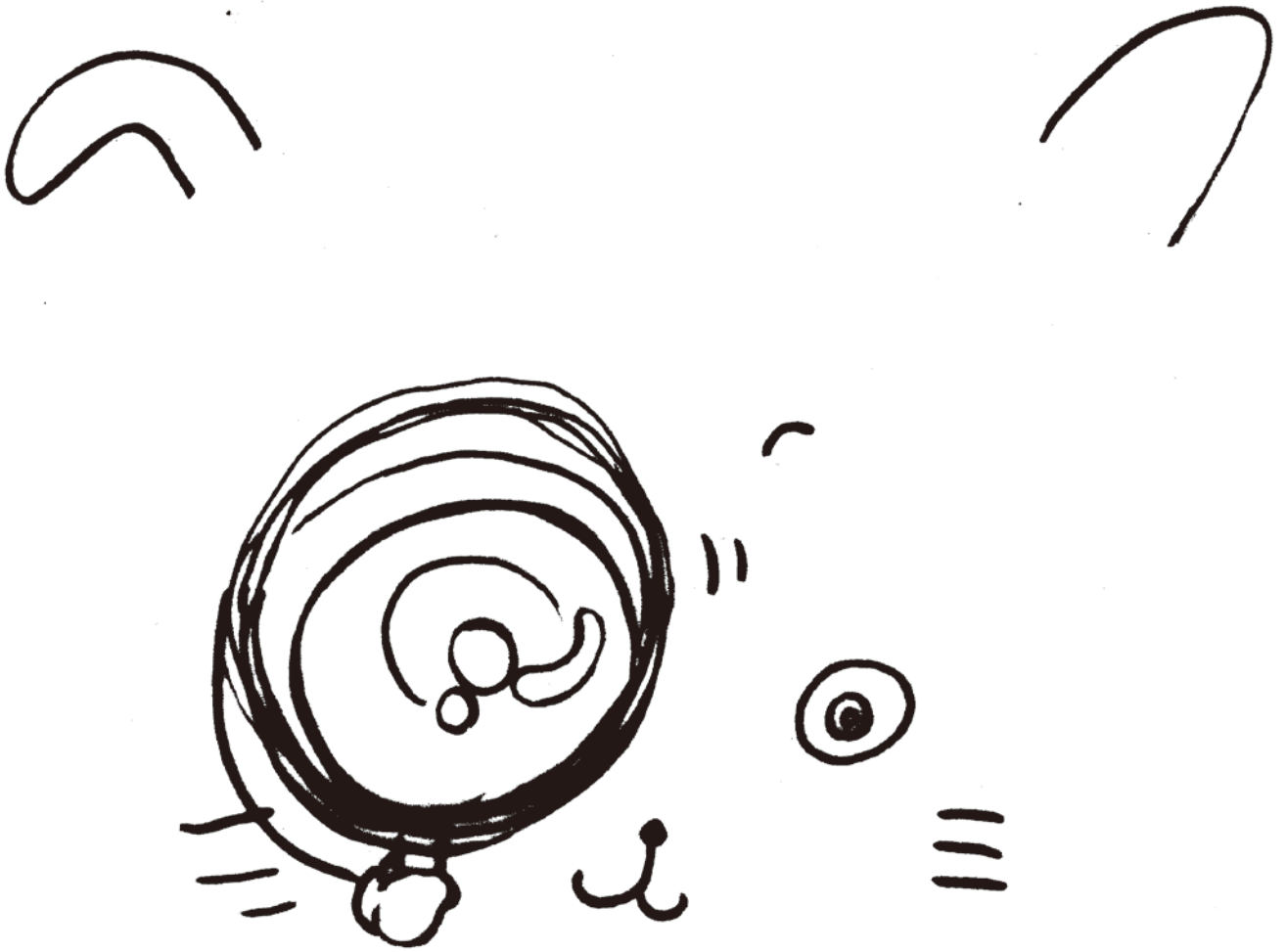
# のたろん流



# のたろん流

(((すかっこの市民活動情報)))





**趣味の活動、その活動はひろがりをみせています。**

## 落語会ひらいて福祉団体に寄付

落語聞くのが趣味で、自分でも落語話せたらいいな一って思ってた、落語家の先生呼んでちょっとばかし入場料もらって定期的に落語会ひらいてるのね。ああ、みんなで落語聞くのっていいよね。余ったお金は寄付しちゃうの。宵越しの銭は～ってかんじ。どうだい？粋だろ？

**昔あそびを子どもたちに伝えてます。**

おはじき、お手玉、輪ゴム鉄砲、昔は身の回りのものでおもちゃを作っていましたからね。昔を思い出しながらみんなで作ったら、いつの間にか会員も増えて、今では子どもたちが集まるイベントに参加してますよ。

## 仕事が趣味

まだなにかできるんじゃないかしら、会社務めが終わって花の隠居生活をしはじめて7日目、なにもしないで死ぬんじゃないかと思ったよ。もう我慢できなかった。で、はじめたのが企業支援のボランティア。これ、趣味っていうのかな（笑）



**はじめは趣味でやってた活動も、気がつけば人のためになっていた。サポセンは、そういう人たちもいっぱい利用しています。**

サポセンの登録団体は現在 500 団体あまり。あなたの趣味をもっとゆたかにしてくれる団体もみつかります。

休館日は年末年始のみ、朝 9 時から夜の 10 時まで開いています。どうぞお気軽にお越しください。

# ひと ～市民活動を支える人たち～

のたろんフェア 2017 実行委員として、会場に華やいだ雰囲気を持って、鋭い提言もいただいた。佐久間さんにお話を伺った。

1955 年横須賀市三春町に生まれる。小学生時代は 4 月早生まれの「アドバンテージ？」を活かし良い成績を残したが、鼓笛隊の指揮をする毎月曜の朝礼がイヤで学校嫌いになってしまったという。

高校の頃は、遠藤周作の作品をはじめとして、様々な本を読んだり、ギター弾いたりしていた。シカゴやディープパープルの曲が好きで、遠くまでコンサートを聴きに行くこともあった。部活は放送部。過激な内容の放送をして先生に怒られた。

あるとき、ミース・ファン・デル・ローエという建築家の本を読んだ。「フォーム・フォローズ・ファンクション（形態は機能に従う）」—その建物の内容や機能を徹底的に詰め込んでゆくと、自ずと外観は決まってくる—に、感銘を受けた。「建築しなければならないと思った。」という。

けれど大学の受験には失敗、短大の建築科に進んだ。その短大も、学生運動のさなか中退した。建築デザインの専門学校に通う。

就職は建築設計事務所、数年間勤務したが会社が倒産。職を求めてベースに入った。ベースでは、建築設計に携わってきた実績をかわれ、長期営繕計画を担当した。このとき、アメリカ流の考え方を「いいな」と思ったという。当時の日本は、ブレイクダウンメンテナンス（壊れたら直す）が主流。その頃アメリカでは、プリヴェンティヴメンテナンス（予防営繕）だった。事前に予算配置して、故障等のあるなしにかかわらず一斉に修理や交換をする。10年20年でみるとその方が安くついた。

10年ほど勤めた頃、労働組合から声を掛けられ、組合

## NPO 法人 つばさ福祉送迎 佐久間 則夫 さん

の役員になり、委員長まで経験。そして、労働組合に推され、市議会議員に立候補。3期12年をつとめた。労働組合委員長時代、労働組合の地域活動を考えたことがあった。議員時代も心の中ではあたためていたが、実現しなかった。「議員生活が終わったとき、小さなことでも、地域の活動をしようと思った。好きなことばかりではないかも知れない。けれど、やらなきゃいけないんじゃないか。」



そして、NPO法人つばさ福祉送迎を立ち上げ、三春町の丘陵部住民への買い物等の足になる活動を行っている。また、動物愛護協会に請われて、会長を引き受け、NPOの認証を取ったり、地域猫活動などの取り組みもはじめた。市民政策フォーラムをきっかけに知った、太平洋戦争中に横須賀で開発していた有人ロケット戦闘機「秋水（しゅうすい）」。産業遺産の意味からも、秋水を知ってもらおうという「秋水プロジェクト」。多岐にわたる分野で、市民活動に関わってきた。

「共生社会を見越して、地域コミュニティは、みながあたたかさを共有できるようになってゆくのよ。良いも悪いも含めて、今ある光景、今ある風景を大切に、日々を暮らせることは幸せだと思う。」と話してくれた。

シカゴの音楽を聴き「おれもなにかできるのではないかと思った」遠藤周作から「人の弱さや矛盾、それらを包み込む視点を学んだ」青年時代から育ててきた“熱い気持ちと冷静な頭脳”を活かして、これからも横須賀の市民活動をリードして行ってほしいと思った。そんなインタビューでした。（はこざき）

## 団体紹介 NPO 法人 つばさ福祉送迎

高齢の市民や障がいをお持ちの方たちに、買物、通院、公共手続などのための移動のお手伝いをしています。

また、ご近所どおしの『助け合い外出制度』の構築について研究し、行政に対してもその重要性をはたらきかける活動をおこなっています。

NPO 法人 つばさ福祉送迎のホームページ <https://www.tsubasa-npo.com/>

### 進学・進級した

## 学生諸君！

「ほぴーぐみ」って知ってますか？  
「さぼサポ」も楽しいですよ。

高校生、大学生を中心としたボランティアサークル「ほぴーぐみ」は、自分たちで「やりたいボランティア」をかたちにしていきます。大学生を中心としたグループ「さぼサポ」では、余暇を利用して市内のイベントのボランティア活動を行います。



市民活動サポートセンターでは、高校生、大学生のためのボランティアサークルを支援しています。お気軽にお問合せください。→4ページへ

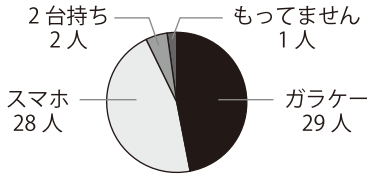
# のたろん Tag Cloud アンケート



アンケートの◎答が  
全部見られます♪

サポセンを利用している人に聞きました。

## あなたはガラケー？スマホ？



- ① 格安スマホの良さをもっと知ろう！  
運動しながら利用したりはよくない。
- ② なんだかでも下を見ている人が多くてつまらない  
時間を使い方と目に問題あり！です  
ゲエエエエム (ゲーム)  
メモがわり 電車の中、若者が夢中で、老人をたたせている
- ③ 交通情報 地図 GPS お金かかる スマホ、使いきれない  
LINE スクリーンカーテン ゲームに夢中になっている人がある  
動画撮影&編集 SIMフリー！

## 歩きスマホにカアアツ！

- ① スマホのよいところ、私が見ているスマホの便利な使い方
- ② 最近のスマホ事情にひとこと！ (怒っても可)

スマホ ライン活用 // 見すぎ！ところかまわず時間かまわず  
 スマホ 世の人のスマホに夢中で他人を気にしなくなるので身なりがひんそうでもわりとへいき // 時間は有限かも  
 スマホ 本にもなるし、ゲームにもなる。時間つぶしにはとてもよい。 // 自分もふくめ、スマホに依存していると思います。  
 スマホ 動画、写真がきれいに見られる // 使い方がよくわからない  
 スマホ 小さなPC // いらぬ情報多すぎ  
 スマホ インターネットが使える // あまり、メールアドレスを覚えていないのでメールがこなくて助かります。  
 ガラケー 画面がでかい // 情報が多すぎる！一進一退が早すぎる。寝てるときは寝かせろ！！  
 ガラケー 地図 (GPS)、アプリケーションが追加できる // 高いスマホを見せびらかすな～  
 2台持ち 地図アプリのおかげで迷子にならなくなった。 // 歩きスマホはやめなさい！！ (怒)  
 スマホ 情報が得られる 調べられるところ 画面が大きい // 月々の料金が安い！しぼりが多い！カラクリが複雑  
 スマホ ヤフーニュースとかで本当に早く最新ニュースを知ることができる。カレンダーにスケジュールをいくらかスペースのばして書ける // 60代の私でも、ずっと使っていてやめ時がむずかしい！ (読書時間がへりました)  
 ガラケー 待ち合わせの時。○いまだこ？×改札出た○あーきた // 生身 (なまみ) の人間が隣りにいるのにスマホを優先するヤツ、失礼きわまりない。そばにいる人を大切にしない人はだれからも大切にされないよ！やるがいいさ。

横須賀市市民活動サポートセンターには大変お世話になってます。先日、沼崎さんより頼まれ、このコーナーの担当を仰せつかりました。元三浦半島活断層調査会事務局長だった、「松崎健一」と申します。これからお付き合いの程よろしくお願いたします。私は、もう一つの顔を持っています。横須賀市役所山岳部OB会代表です。ですので、このコーナーのお話は地震減災の話と山の話にしたいと考えてます。

地震はいつ起きるか解りません。予知は無理な様です。騒がれている東海地震は起きてくれません。前兆現象も起きてくれません。海底のスロースリップなど、前兆かと思われる事象もありましたが、地震には繋がっていません。何時起きるか解らない地震に対して、絶対起こらないと思うのは間違いです。やっぱり、確実に繰り返しています。これに対処するには、常日頃の備えだと思えます。

水、食料の備蓄。非常持ち出しの準備、など数えればいくらでもあります。地震その時何をするか？先ず自分を守りましょう。机の下、倒れてくるものが無いか確認して、揺れのおさまるのを待つて、火を消す。(最近ではガスの供給が震度5以上でメーターの所で止まる。) 停電になれば、懐中電灯。トランジスタラジオにも電池ですね。携帯電話の蓄電式充電器。家用車のテレビ・ラジオは便利ですね。車は、ガソリンが無いと動きません。災害用には常に満タン状態を心がけましょう。台所用には、カセットコンロが便利です。懐中電灯ですが、登山用のヘッドランプは手を使いませんので、歩くにも調理をするのにも便利です。

(松崎健一)



## \*\*\*\*\* サポセン topics トピックス

### お知らせ

## 現状どおり 1 階の方針 横須賀市 施設配置適正化計画

ほんと  
よかったよお～



横須賀市の施設配置適正化計画で、当初サポートセンターは1階から3階への移転が計画されていましたが、この2月に「現状のまま」とする方針が横須賀市長より発表されました。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報
  - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
  - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん 検索

情報誌「のたろん」春号 (通巻 70 号) 2017 年 4 月 1 日  
 発行 横須賀市市民活動サポートセンター  
 編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
 横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩 1 分)  
 TEL 046-828-3130  
 FAX 046-828-3132  
 市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

